

## 交付図書の訂正について

令和6年12月13日付けで入札公告を行った「(工事名) 東北自動車道 R7北上管内遮音壁工事」に係る交付図書に一部誤りがあったため、別添のとおり訂正します。

なお、当社ホームページ掲載の交付図書についても、同日付で訂正したものに改めておりますので、再度、交付図書をご確認ください。

令和7年3月31日

契約責任者

東日本高速道路株式会社

東北支社長

### 【訂正内容】

- ・特記仕様書
- ・設計図

※訂正箇所は、別添「正誤表」をご確認ください。

対象図書 (ページ)	誤	正
特記仕様書 (目次)	<p>1.4. 環境保全に関する事項 ..... 1.2      1.5. 建設副産物の処理方法に関する事項 ..... 1.2      1.6. 部分使用に関する事項 ..... 1.3      1.7. 現場環境改善に関する事項 ..... 1.3      1.8. 工事用ブレートに関する事項 ..... 1.3      1.9. 三者協議会に関する事項 ..... 1.4</p>	<p>1.4. 環境保全に関する事項 ..... 1.2      1.5. 建設副産物の処理方法に関する事項 ..... 1.3      1.6. 部分使用に関する事項 ..... 1.3      1.7. 現場環境改善に関する事項 ..... 1.3      1.8. 工事用ブレートに関する事項 ..... 1.4      1.9. 三者協議会に関する事項 ..... 1.4</p>
特記仕様書 (6頁)	<p>8-6-1 定義      8-6-2 履行確認（週休2日確保の確認方法）</p>	<p>8-5-1 定義      8-5-2 履行確認（週休2日確保の確認方法）</p>
特記仕様書 (7頁)	<p>8-6-3 工期      8-7 週休2日工事に要する費用      8-7-1 補正対象項目及び補正方法      見積活用方式を採用する工事において、見積対象とした項目においては、最終参考見積書の内訳（材料、労務費、機械経費、その他、割掛費等）を確認し、週休2日に係る費用が含まれていないものについては、NEXCOの「上工事積算基準 第3編「週休2日（4週8休）工事の積算」の規定に基づき補正額を算出するものとする。      また、週休2日の確保を本特記仕様書8-6-2「履行確認（週休2日確保の確認方法）（2）」による確認後、4週8休以上の現場閉所率に満たないものは、請負代金額のうち補正分を減額変更するものとする。      なお、減額費用の算出方法等の取扱いについては、共通仕様書1-3-3-1「新準備」の規定によるものとし、見積対象とした項目においては、最終参考見積書に記載している週休2日に係る費用の内訳（材料、労務費、機械経費、その他、割掛費等）に基づき減額変更を行うものとする。最終参考見積書に内訳の記載がないものについては、NEXCOの「上工事積算基準 第3編「週休2日（4週8休）工事の積算」により減額費用を算出するものとする。      8-7-2 支払      週休2日工事に要する費用は、関連する単価項目の単価に含むものとし、別途支払いは行わないものとする。</p>	<p>8-5-3 工期      8-6 週休2日工事に要する費用      8-6-1 補正対象項目及び補正方法      見積活用方式を採用する工事において、見積対象とした項目においては、最終参考見積書の内訳（材料、労務費、機械経費、その他、割掛費等）を確認し、週休2日に係る費用が含まれていないものについては、NEXCOの「上工事積算基準（4週8休）（令和6年度版）」の規定に基づき補正額を算出するものとする。      また、週休2日の確保を本特記仕様書8-5-2「履行確認（週休2日確保の確認方法）（2）」による確認後、4週8休以上の現場閉所率に満たないものは、請負代金額のうち補正分を減額変更するものとする。      なお、減額費用の算出方法等の取扱いについては、共通仕様書1-3-3-1「新準備」の規定によるものとし、見積対象とした項目においては、最終参考見積書に記載している週休2日に係る費用の内訳（材料、労務費、機械経費、その他、割掛費等）に基づき減額変更を行うものとする。最終参考見積書に内訳の記載がないものについては、NEXCOの「上工事積算基準（4週8休）（令和6年度版）」により減額費用を算出するものとする。      8-6-2 支払      週休2日工事に要する費用は、関連する単価項目の単価に含むものとし、別途支払いは行わないものとする。</p>
特記仕様書 (11頁)	<p>1.3-7 保安に関する費用      本特記仕様書1.3-1「工事用車両の区別」、1.3-2「標識等の設置」、1.3-3「光通信ケーブル等損傷事故防止対策」、1.3-4「飛散防止対策」、1.3-5「工事に使用する移動用発電設備等について」、1.3-6「交通規制内の作業員の安全対策」に要する費用は諸経費に含むものとし、別途支払は行わないものとする。</p>	<p>1.3-7 保安に関する費用      本特記仕様書1.3-1「工事用車両の区別」、1.3-2「標識等の設置」、1.3-3「光通信ケーブル等損傷事故防止対策」、1.3-4「飛散防止対策」、1.3-5「工事に使用する移動用発電設備等について」、1.3-6「交通規制内の作業員の安全対策」に要する費用は諸経費に含むものとし、別途支払は行わないものとする。</p> <p>1.3-8 第三者被害を想定した重大事故防止の取組み      (1) 定義</p>
特記仕様書 (12頁)	<p>1.4. 環境保全に関する事項      1.4-1 砂塵等の防止      受注者は、工事用機械及び車両の走行による砂塵等の被害を第三者に及ぼさないよう善良な管理を行うものとする。</p>	<p>工事中の安全の確保については共通仕様書で規定しているところであるが、第三者への被害が想定される事故や供用中道路の通行止めや大渋滞に至る事故等（以下「重大事故リスク」という。）について、受発注者が一体となって安全向上に努める取組みをいう。</p> <p>(2) 実施手順      1) 施工計画書への反映      受注者は、設計図書及び関係法令に基づき、重大事故リスクの挙出を行い、それに対する安全対策について施工計画書に記載するものとする。      2) 受発注者間の協議      発注者は、受注者から監督員に施工計画書の提出がされたときは、受発注者合同で施工計画書に示された重大事故リスクに関して施工計画書及び設計図書並びに現場確認を通して安全対策に不足が無いか確認（以下「重大事故リスクマネジメント」という。）を行うものとする。受注者は協議の結果、施工計画書の修正が必要なときは修正された施工計画書を提出するとともに、受注者の全ての職員・作業員に対して実施すべき内容を伝達するとともに確実に実施すること。      3) 施工条件等の変更時の取扱い      受注者及び受注者は、施工条件等が変更となった場合は、前記1)・2)で抽出した策を定めた内容に変更が生じるときは改めて、前記1)及び2)の手順により受発注者合同で重大事故リスクマネジメントを行うものとする。      (3) その他      重大事故リスクマネジメントの実施に要する費用は、諸経費に含むものとし別途支払いは行わない。ただし、重大事故リスクマネジメントの結果、設計図書で示す現地条件以外に別途現地調査や技術的な検討が必要なことが明らかとなった場合は、実施方針等も含め別途受発注者間で協議して定めるものとする。</p> <p>1.4. 環境保全に関する事項      1.4-1 砂塵等の防止      受注者は、工事用機械及び車両の走行による砂塵等の被害を第三者に及ぼさないよう善良な管理を行うものとする。</p>
特記仕様書 (19頁・20頁)	<p>遮音壁基礎ぐいの支払は、共通仕様書1.8-3-1「数量の検測」より検測された数量に対し、それぞれ1m当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う基礎ぐいの製作、その他材料の調達、打込み、現場溶接、セメントミルク注入、残土運搬、掘削、鉄筋の加工、運搬、組立、搬付、中詰め等基礎ぐいの施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものと除くすべての費用を含むものとする。</p>	<p>遮音壁基礎ぐいの支払は、共通仕様書1.8-3-1「数量の検測」より検測された数量に対し、それぞれ1m当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う基礎ぐいの製作、その他材料の調達、打込み、現場溶接、セメントミルク注入、残土運搬、      (改)      削出し、掘削、鉄筋の加工、運搬、組立、搬付、中詰め等基礎ぐいの施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものと除くすべての費用を含むものとする。</p>
特記仕様書 (21頁)	<p>2.3-6-4 夜間巡回      (1) 巡回内容      本規制（昼夜連続）及び夜間通行止めを実施する場合、規制実施区間の予告規制標識等の設置状況等を確認するため、車両による目視点検巡回を行うものとする。巡回時間は20時～翌6時までの間に、交通監視員2名1組の体制で2時間おきに実施するものとする。なお、巡回を実施する交通監視員は、交通規制内で一般車への注意喚起及び規制材の保守を実施する監視員以外の人員で実施するものとする。</p>	<p>2.3-6-4 夜間巡回      (1) 巡回内容      本規制（昼夜連続）を実施する場合、規制実施区間の予告規制標識等の設置状況等を確認するため、車両による目視点検巡回を行うものとする。巡回時間は20時～翌6時までの間に、交通監視員2名1組の体制で2時間おきに実施するものとする。なお、巡回を実施する交通監視員は、交通規制内で一般車への注意喚起及び規制材の保守を実施する監視員以外の人員で実施するものとする。</p>
特記仕様書 (添付資料別添1)	(未添付)	「別添-1 東北自動車道 R7北上管内遮音壁工事 三者協議会協定書(案)」
特記仕様書 (添付資料別添2)	(未添付)	「別添-2 実績価格調査票の提出について」

対象	誤																																																												
設計図 (3/23)	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 100%;"> <p style="text-align: right;">3 / 23</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目番号</th> <th>単価項目名</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2-( 6 )</td> <td>構造物鋼筋 特殊筋A</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>42.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2-( 7 )</td> <td>構造物鋼筋工 埋設し工B</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>29.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2-( 8 )</td> <td>基礎材</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>1.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5-( 1 )</td> <td>用・排水溝 D v-P u · 0. 24 · 0. 24</td> <td>m</td> <td>4.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5-( 3 )</td> <td>集水溝 C</td> <td>箇所</td> <td>1.0</td> <td>Dc-0.50 · 0.50 · 0.50</td> </tr> <tr> <td>8-( 1 )</td> <td>コンクリート B 2-1</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>12.2</td> <td><math>\sigma c k = 24 N/mm^2</math></td> </tr> <tr> <td>8-( 1 )</td> <td>コンクリート D 1-1</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>0.6</td> <td><math>\sigma c k = 18 N/mm^2</math></td> </tr> <tr> <td>8-( 2 )</td> <td>型わく C</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>27.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8-( 2 )</td> <td>型わく D</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>1.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8-( 3 )</td> <td>鋼筋 A</td> <td>t</td> <td>0.024</td> <td>SD345 フーティング基礎D13筋筋</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>t</td> <td>0.496</td> <td>SD345 フーティング基礎D16筋筋</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">東北自動車道 R7北上管内遮音壁工事</p> <p style="text-align: right;">図面の種類 数量総括表 (その1)</p> <p style="text-align: right;">縮 尺 — 図面番号 —</p> <p style="text-align: right;">東日本高速道路㈱ 東北支社 事務所名 北上 管理事務所</p> </div>	項目番号	単価項目名	単位	数量	摘要	2-( 6 )	構造物鋼筋 特殊筋A	m <sup>3</sup>	42.9		2-( 7 )	構造物鋼筋工 埋設し工B	m <sup>3</sup>	29.8		2-( 8 )	基礎材	m <sup>3</sup>	1.4		5-( 1 )	用・排水溝 D v-P u · 0. 24 · 0. 24	m	4.8		5-( 3 )	集水溝 C	箇所	1.0	Dc-0.50 · 0.50 · 0.50	8-( 1 )	コンクリート B 2-1	m <sup>3</sup>	12.2	$\sigma c k = 24 N/mm^2$	8-( 1 )	コンクリート D 1-1	m <sup>3</sup>	0.6	$\sigma c k = 18 N/mm^2$	8-( 2 )	型わく C	m <sup>3</sup>	27.4		8-( 2 )	型わく D	m <sup>3</sup>	1.6		8-( 3 )	鋼筋 A	t	0.024	SD345 フーティング基礎D13筋筋			t	0.496	SD345 フーティング基礎D16筋筋
項目番号	単価項目名	単位	数量	摘要																																																									
2-( 6 )	構造物鋼筋 特殊筋A	m <sup>3</sup>	42.9																																																										
2-( 7 )	構造物鋼筋工 埋設し工B	m <sup>3</sup>	29.8																																																										
2-( 8 )	基礎材	m <sup>3</sup>	1.4																																																										
5-( 1 )	用・排水溝 D v-P u · 0. 24 · 0. 24	m	4.8																																																										
5-( 3 )	集水溝 C	箇所	1.0	Dc-0.50 · 0.50 · 0.50																																																									
8-( 1 )	コンクリート B 2-1	m <sup>3</sup>	12.2	$\sigma c k = 24 N/mm^2$																																																									
8-( 1 )	コンクリート D 1-1	m <sup>3</sup>	0.6	$\sigma c k = 18 N/mm^2$																																																									
8-( 2 )	型わく C	m <sup>3</sup>	27.4																																																										
8-( 2 )	型わく D	m <sup>3</sup>	1.6																																																										
8-( 3 )	鋼筋 A	t	0.024	SD345 フーティング基礎D13筋筋																																																									
		t	0.496	SD345 フーティング基礎D16筋筋																																																									
	正																																																												
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 100%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目番号</th> <th>単価項目名</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2-( 6 )</td> <td>構造物鋼筋 特殊筋A</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>42.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2-( 7 )</td> <td>構造物鋼筋工 埋設し工B</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>29.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2-( 8 )</td> <td>基礎材</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>1.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5-( 1 )</td> <td>用・排水溝 D v-P u · 0. 24 · 0. 24</td> <td>m</td> <td>4.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5-( 3 )</td> <td>集水溝 C</td> <td>箇所</td> <td>1.0</td> <td>Dc-0.50 · 0.50 · 0.50</td> </tr> <tr> <td>8-( 1 )</td> <td>コンクリート B 2-1</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>12.2</td> <td><math>\sigma c k = 24 N/mm^2</math></td> </tr> <tr> <td>8-( 1 )</td> <td>コンクリート D 1-1</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>0.6</td> <td><math>\sigma c k = 18 N/mm^2</math></td> </tr> <tr> <td>8-( 2 )</td> <td>型わく C</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>27.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8-( 2 )</td> <td>型わく D</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>1.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8-( 3 )</td> <td>鋼筋 A</td> <td>t</td> <td>0.024</td> <td>SD345 フーティング基礎D13筋筋</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>t</td> <td>0.496</td> <td>SD345 フーティング基礎D16筋筋</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">東北自動車道 R7北上管内遮音壁工事</p> <p style="text-align: right;">図面の種類 数量総括表 (その1)</p> <p style="text-align: right;">縮 尺 — 図面番号 —</p> <p style="text-align: right;">東日本高速道路㈱ 東北支社 事務所名 北上 管理事務所</p> </div>	項目番号	単価項目名	単位	数量	摘要	2-( 6 )	構造物鋼筋 特殊筋A	m <sup>3</sup>	42.9		2-( 7 )	構造物鋼筋工 埋設し工B	m <sup>3</sup>	29.8		2-( 8 )	基礎材	m <sup>3</sup>	1.4		5-( 1 )	用・排水溝 D v-P u · 0. 24 · 0. 24	m	4.8		5-( 3 )	集水溝 C	箇所	1.0	Dc-0.50 · 0.50 · 0.50	8-( 1 )	コンクリート B 2-1	m <sup>3</sup>	12.2	$\sigma c k = 24 N/mm^2$	8-( 1 )	コンクリート D 1-1	m <sup>3</sup>	0.6	$\sigma c k = 18 N/mm^2$	8-( 2 )	型わく C	m <sup>3</sup>	27.4		8-( 2 )	型わく D	m <sup>3</sup>	1.6		8-( 3 )	鋼筋 A	t	0.024	SD345 フーティング基礎D13筋筋			t	0.496	SD345 フーティング基礎D16筋筋
項目番号	単価項目名	単位	数量	摘要																																																									
2-( 6 )	構造物鋼筋 特殊筋A	m <sup>3</sup>	42.9																																																										
2-( 7 )	構造物鋼筋工 埋設し工B	m <sup>3</sup>	29.8																																																										
2-( 8 )	基礎材	m <sup>3</sup>	1.4																																																										
5-( 1 )	用・排水溝 D v-P u · 0. 24 · 0. 24	m	4.8																																																										
5-( 3 )	集水溝 C	箇所	1.0	Dc-0.50 · 0.50 · 0.50																																																									
8-( 1 )	コンクリート B 2-1	m <sup>3</sup>	12.2	$\sigma c k = 24 N/mm^2$																																																									
8-( 1 )	コンクリート D 1-1	m <sup>3</sup>	0.6	$\sigma c k = 18 N/mm^2$																																																									
8-( 2 )	型わく C	m <sup>3</sup>	27.4																																																										
8-( 2 )	型わく D	m <sup>3</sup>	1.6																																																										
8-( 3 )	鋼筋 A	t	0.024	SD345 フーティング基礎D13筋筋																																																									
		t	0.496	SD345 フーティング基礎D16筋筋																																																									

対象

設計図

(4/23)

記

4 23

数量総括表 (その2)

項目番号	単体項目名称	単位	数量	備考	摘要															
					単位 数量	個数						合計 (個数)		合計 (質量)	備考					
1B-5) 道路壁 1-P (i=0+4.8m) M+M1 (A)	m 40.0					既設	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧						
				500 x 95 x 3960	-	1	2						4	7	- 上部遮音板					
				500 x 95 x 3769	-								1	1	- 上部遮音板					
				500 x 95 x 2200	-			1						1	- 上部遮音板					
				500 x 95 x 1960	-				1					1	- 上部遮音板					
				500 x 95 x 1960	-					1			2	2	- M1 上部遮音板					
				500 x 95 x 3960	-	7	14						28	49	- 強出し部はM1					
				500 x 95 x 3769	-								7	7	- 強出し部はM1					
				500 x 95 x 2200	-			7						7	- 強出し部はM1					
				500 x 95 x 1960	-				7					7	- 強出し部はM1					
				500 x 95 x 3960	-	4	8						16	28	-					
支柱	H	kg			500 x 95 x 3769	-								4	4	-				
					500 x 95 x 2200	-			4						4	-				
					500 x 95 x 1960	-				4					4	-				
					356 x 95 x 1960	-					1	1		2	2	- M1				
					500 x 90 x 3960	-	2	4						8	14	-				
					500 x 90 x 3769	-								2	2	-				
					500 x 90 x 2200	-				2					2	-				
					500 x 90 x 1960	-					2				2	-				
					H-175用	-	20	40	20	20	20	20	20	20	20	240	-			
						-	4	8	4	4	4	4	4	4	16	48	-			
固定金具	ケ				H-150用	-	2	4	2	2	2	2	2	2	8	24	-			
						-	4	8	4	4	4	4	4	4	16	40	-			
					支柱	kg	340 x 250 x 9 x 14 x 4150	324	2	1	1	1	1	1	3	10	3240	SS400		
						kg	175 x 175 x 7 x 5 x 11 x 4661	186	2	1	1	1	1	1	3	10	1860			
					PL	kg	170 x 250 x 12 x 527	11	2	1	1	1	1	1	3	10	110			
						kg	84 x 6 x 2350	18	4	2	2				2	6	16	288	SS400	
						kg	84 x 6 x 2350	9				1	1			2	16			
						kg	85 x 6 x 2168	8				1	1			2	16			
						kg	100 x 75 x 7 L=750	16				1	1			2	32			
						kg	100 x 75 x 7 L=500	11				1	1			2	22			
土留め板 受け金具	PL	kg				kg	100 x 75 x 7 L=445	10				1	1			2	20			
						kg	12 x 75 x 370	6				2	2			4	24	SS400		
						kg	P1	0 x 75 x 100	4			6	6			12	72			
						kg	ANCHOR	W16 ワンターンカーボルト	-			2	2			4	8			
						kg	ANCHOR	W16 ホーカンカーボルト	-			4	4			8	-			
						kg	支柱	500 x 90 x 3960	-	1	2					4	7			
						kg	500 x 90 x 3769	-							1	1				
						kg	500 x 90 x 2200	-			1					1	-			
						kg	500 x 90 x 1960	-				1				1	-			
						kg	500 x 120 x 3960	-	1	2					4	7				
コンクリート	BL-3	m <sup>3</sup>				kg	500 x 120 x 3769	-							1	1				
						kg	500 x 120 x 2200	-							1	1				
						kg	500 x 120 x 1960	-							1	1				
						kg	344 x 90 x 1430	-						1	1	2	-			
						kg	300 x 90 x 1430	-						1	1	2	-			
						kg	支柱	t=1.5	-	7	1	1	1	1	1	3	10	-		
						kg	道音板 落下防止装置	ø6.3(7x1955.0)x540	1.4	2	1	1			1	4	9	12.6		
						kg	モルタル 落下防止ワイヤ	ø6.3(7x1955.0)x14252	2.3				1	1			2	4.6		
						kg	既設防護板 支柱防護板	本	-	1	2				3	6	-	既設防護板質量に準ずるもの		

東北自動車道  
R7 北上管内底盤工事

図面の種類 数量総括表 (その2)

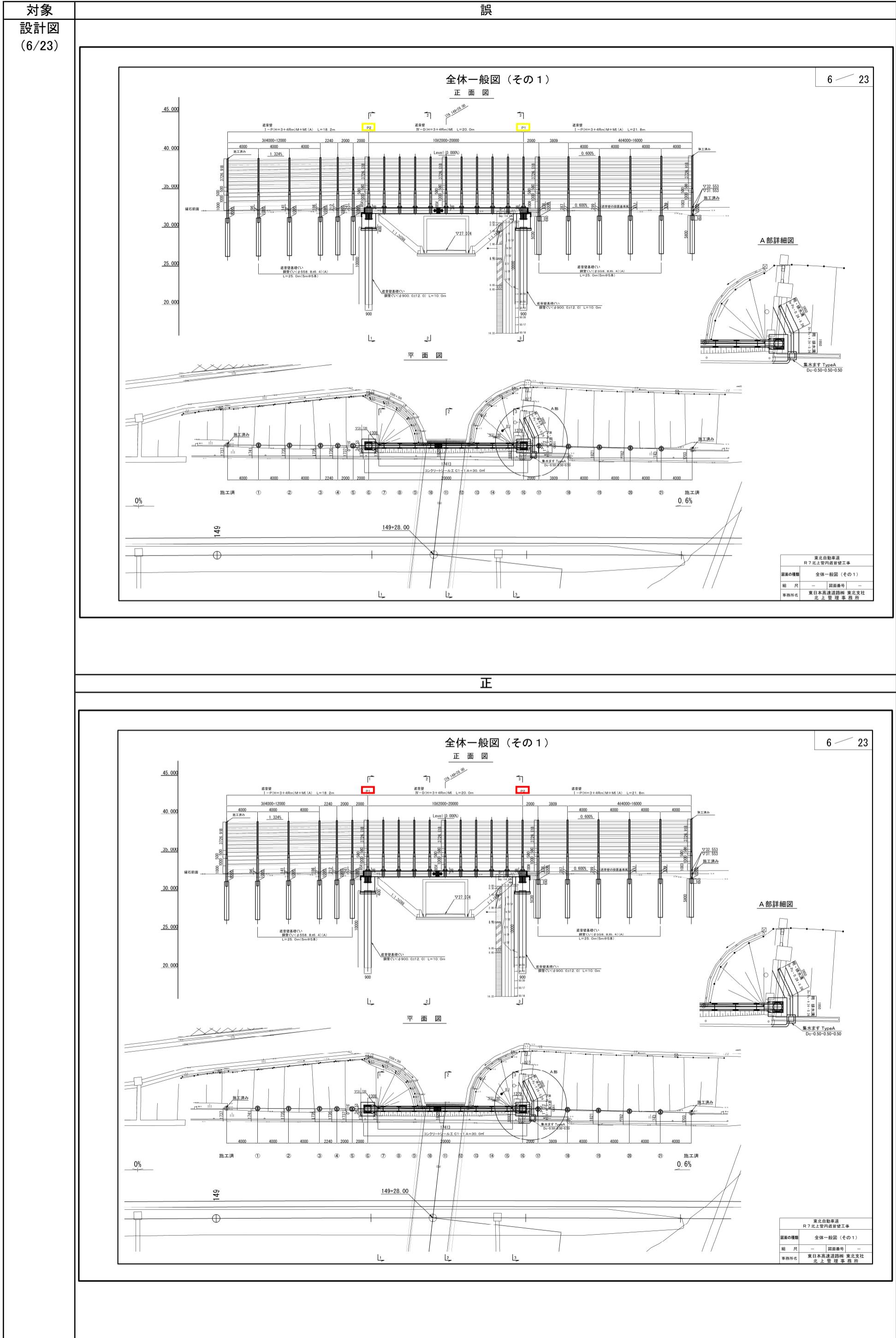
縮尺 1:50

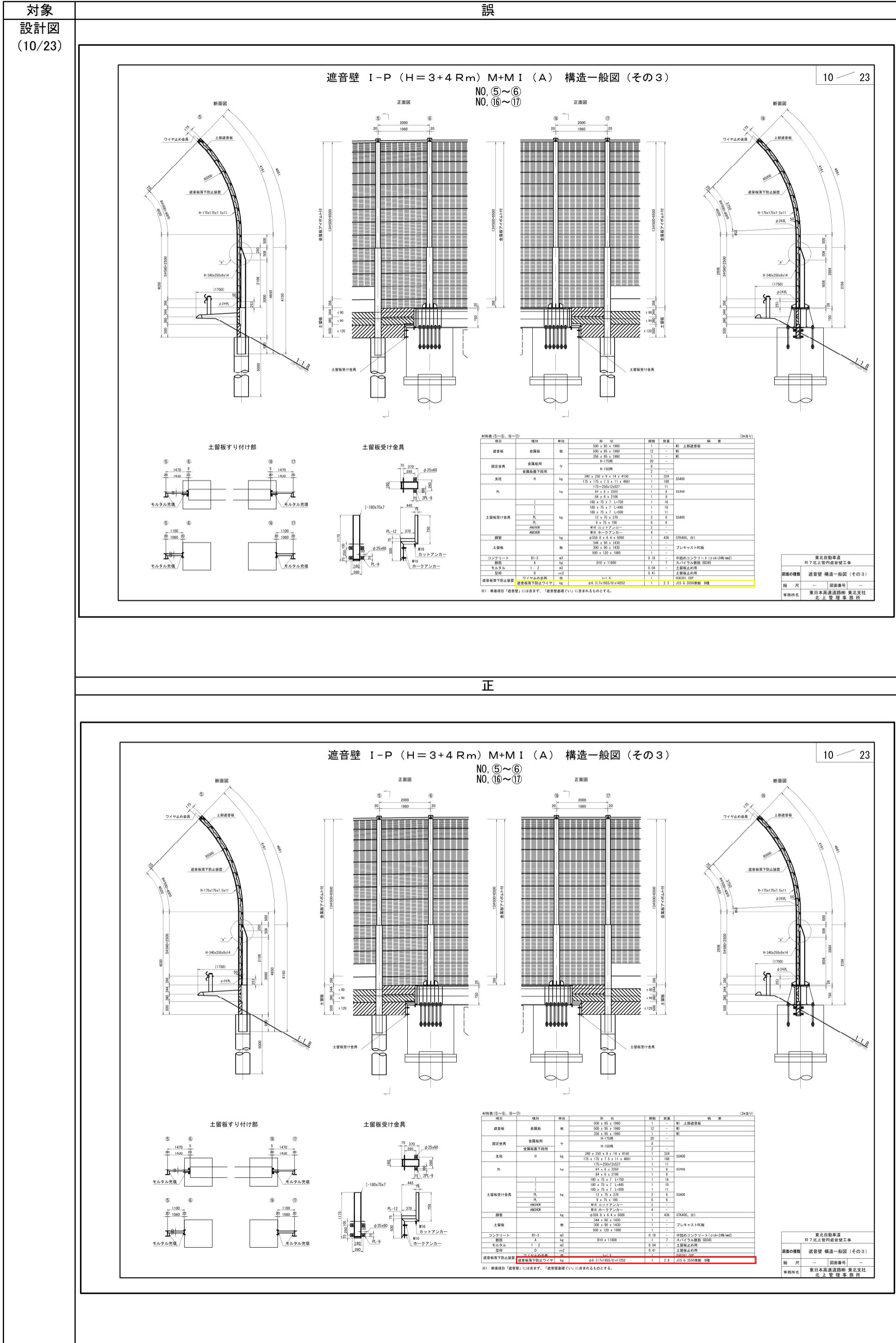
東日本高速道路㈱ 東北支社  
事務所名 北上 管理事務所

1000

東北自動車道 R7北上管内塗装工事			
面積の種類	数量総括表 (その2)		
縦 尺	—	図面番号	—
車両所名	東日本高速道路㈱	東北支社	





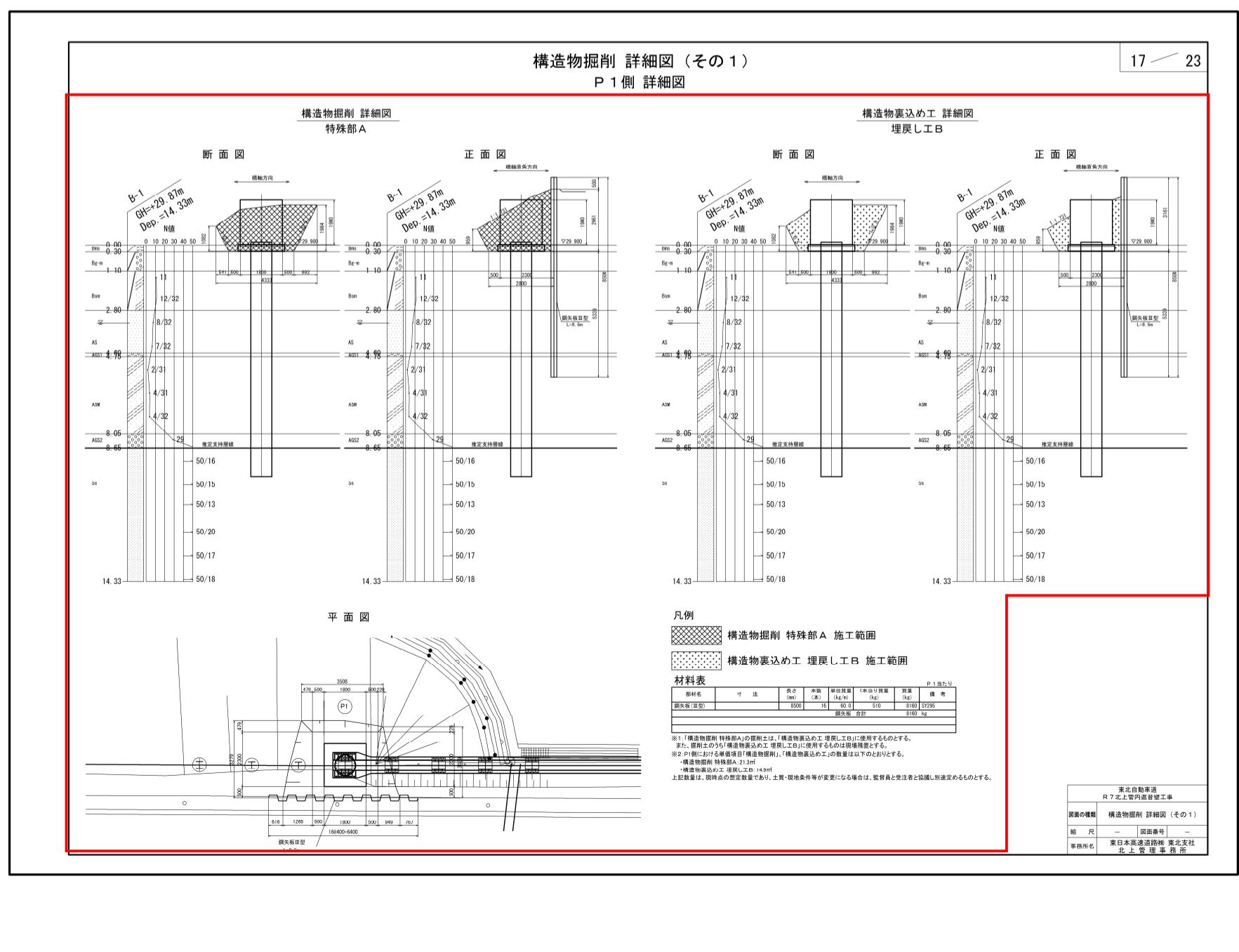
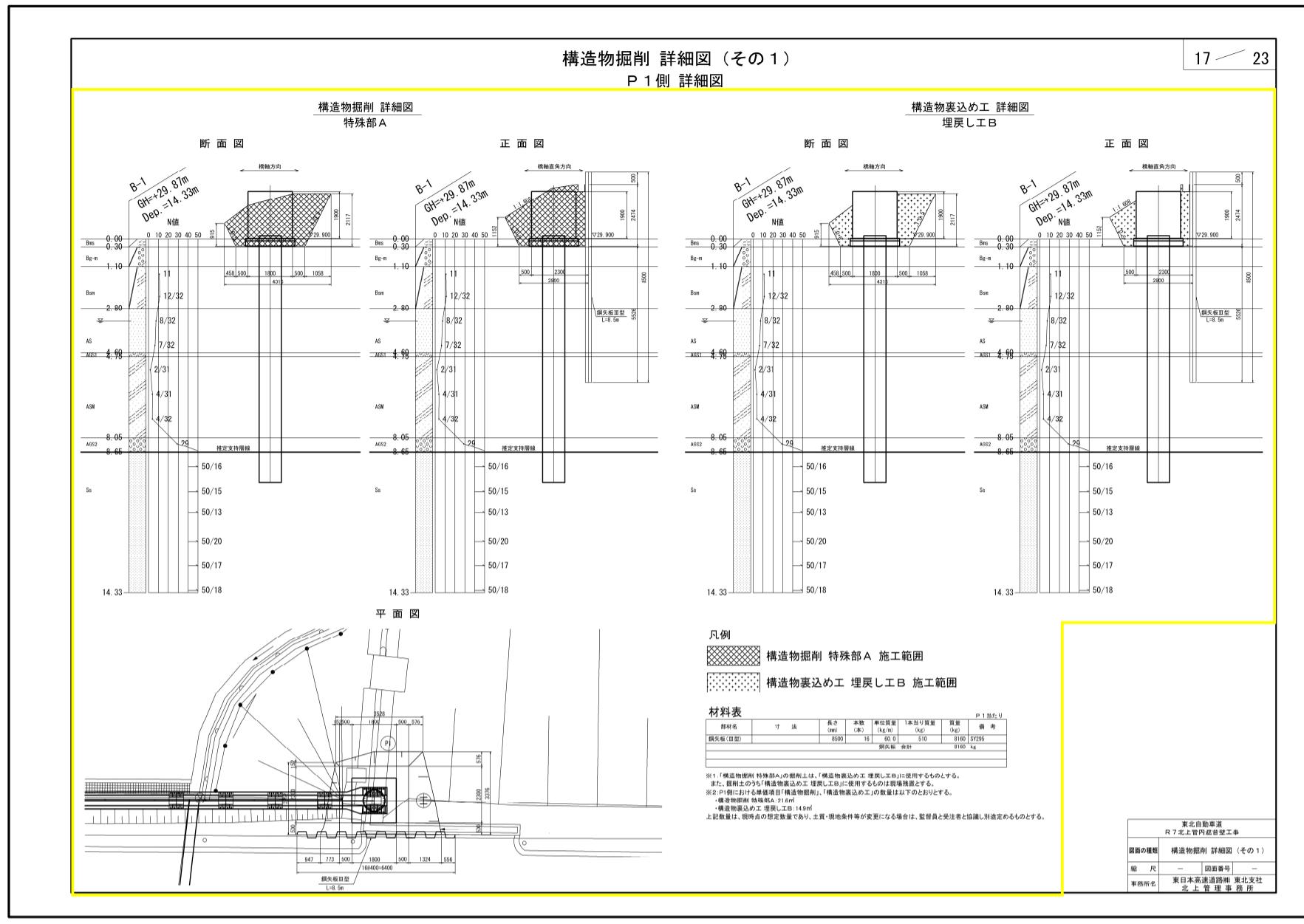


対象

設計図

(17/23)

認



正

構造物掘削 詳細図（その2）  
P 2側 詳細図

**構造物掘削 詳細図  
特殊部A**

**断面図**

**構造物裏込め工 詳細図  
埋戻し工B**

**断面図**

**凡例**

構造物掘削 特殊部A 施工範囲

構造物裏込め工 埋戻し工B 施工範囲

**材料表**

部材名	寸法	長さ (m)	本数 (本)	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg)	P 2あたり	
						調査板(田畠)	調査板 合計
調査板(田畠)		8500	16	60.0	510	8160	8160
						37296	
							8160 kg

※1、「構造物掘削 特殊部A」の掘削土は、「構造物裏込め工 埋戻し工B」に使用するものとする。  
また、掘削土のうち「構造物裏込め工 埋戻し工B」に使用するものは現地残置とする。  
※2、「構造物掘削 特殊部A」の構造物掘削土、「構造物裏込め工」の数量は以下のとおりとする。  
・構造物掘削 特殊部A 214m  
・構造物裏込め工 埋戻し工B 149m  
上記数量は、現時点の想定数量であり、土質・現地条件等が変更になる場合は、監督員と受注者と協議して別定めるものとする。

東北自動車道  
R 7号上宮内志谷壁工事

図面の種類	構造物掘削 詳細図（その2）		
縮 尺	—	図面番号	—
事務所名	東日本高速道路㈱ 東北支社 北上 管理事務所		